

花ゆん・オ・君・モリ博士・フツ博士のかくかくドドド立ててく5

国立市立国立第七小学校

平成30年2月28日 NO.98 (498)

3年生 「きのうの『葉っぱいろいろ大実験』は楽しかったなあ。」

3年生 「そだねー。まず、始めはミカンの葉の観察だったね。」

3年生 「葉っぱをよーく見たら、点々がいっぱいあったね。」

3年生 「それから。ルーペの使い方も教えてもらいました。」

3年生 「ミカンの葉っぱって、においがよくしておどろいたね。」

3年生 「それから、何といってもすごかったのは、オレンジの皮でやった花火実験だ。」

3年生 「そだねー。実験の前に『もぐもぐタイム』もあって、おいしかったね。」

3年生 「でも、この実験は火を使うから子供だけではやってはいけないんだよね。」

3年生 「次に、シロダモという木の葉っぱでも観察と実験をやりました。」

3年生 「葉っぱの表と裏があんなにちがうなんて、初めて知ったなあ。」

3年生 「なぜ色がちがうのか、みんなでいろいろと考えたのがおもしろかったね。」

3年生 「まちがってもいいからって言われてさ、答えやすかったよね。」

3年生 「自分の知っていることをいろいろ集めて、あれこれ考えたのがよかったね。」

3年生 「葉の裏が白いのは蟻のようなもので、外敵から身を守るためだそうでしたね。」

3年生 「蚊取り線香の火を近づけたら、白いのがとけて、文字や絵が書けたね。」

3年生 「そだねー。楽しい実験だけど、これも火を使うから子供だけじゃダメだよね。」

3年生 「それから、タラヨウの葉っぱでは、『お絵かきタイム』と『書き方タイム』を

したのも、またまたとっても楽しかったです。」

3年生 「釘で文字や絵を書いたら、黒くなったんだ。」

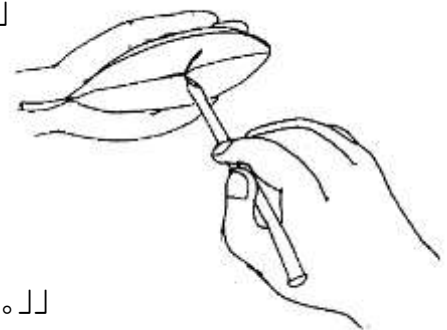
とっても不思議だったね。」

3年生 「そだねー。それで『はがき』というのは、

これがもともとの語源だとも教えてくれました。」

3年生 「さらに、右の写真にあるように、校長先生がタラヨウの葉っぱで副校長先生に

お葉書を出したという、本物の葉書には、本当におどろいたね。」



3年生 「120円かかるそうだけど、^{ほんとう} だ 本当に出してみたいね。」

3年生 「そだねー。みんなで^{はがき} だ 葉書の出しっこしたら、^{たの} 楽しいね。」

3年生 「それから、サンゴジュという^は 葉っぱで『モビールづくり』もおもしろかったね。ゆっくりとていねいにちぎるんだね。」

3年生 「^{こうちょうせんせい} 校長先生が、アジサイやヤマブキやハナミズキの^は 葉っぱでもできると^{おし} 教えてくれたね。^{はる} 春になったらやってみよう。」

3年生 「サンゴジュは、^{じょうりょくじゆ} 常緑樹なので^は 葉がちょっとかたいから、やりにくいと^い 言ってたけど、なんとか成功したね。」

3年生 「そだねー。^{なっとう} 納豆のねばねば糸みだいたったね。」

3年生 「^{さいご} 最後はカエデ・マツ・モミの^{しゆし} 種子の^{もけい} 模型づくりもしたね。」

3年生 「^{もけいづく} 模型作りの^{まえ} 前に、^{こうちょうせんせい} 校長先生が^{ほんもの} 本物のカエデの^{しゆし} 種子を見せてくれたよね。それを^{そら} お空に^む 向けた^な 投げたら、クルクル^{まわ} 回ってよく^と 飛んだね。」

3年生 「ハサミで^{かたち} 形を^き 切り抜いてから^{いろ} 色をぬって、それからクリップをつけてから^と 飛ばしたね。」

3年生 「そだねー。とてもよく^{まわ} 回っておもしろかったね。」

3年生 「この『^{くにたち} 国立てくてく』を^よ 読んでくれた人のために、^{こうちょうせんせい} 校長先生が^{おな} 同じものを^か かいてくれました。^{じぶん} 自分でも^き 切り抜いて、^{あそ} 遊んでみるといいね。」

3年生 「それから、^{こうちょうしつまえ} 校長室前にあまったシロダモ・サンゴジュ・タラヨウの^は 葉っぱを^お 置いてくれたよ。おうちで^{じっけん} 実験したい人は^{ひと} 持って^も 帰って^{かえ} いらしいよ。」

